

教育ボランティア ニュースレター

第10号
発行日 平成24年 6月

平成24年度も、多くの教育ボランティアさんに、本学の教育にご協力いただきました。

このレターでは、

「老年健康生活支援論」と「療養生活支援技術演習」での**教育ボランティア**さんの様子や学生の学びをお届けしたいと思います。

ライフストーリーを語る

ライフストーリーとは、「ライフ（人生、生活、生）のストーリー（物語）」、つまり、自分の生に対する意味づけを反映した言葉による織物です。ストーリーを聴き手に語ることは、人生を振り返り、肯定的な意味づけをすることにつながります。

「教育ボランティア」さんは、現在も募集中です。お友達やご近隣の方をお誘いいただき、是非学生の教育にご協力ください。

ご登録希望やお問い合わせは、神戸市看護大学 地域連携・国際交流センター；古谷（078-794-8080：学校代表番号）までお願いします。

編集・発行

神戸市看護大学

地域連携・国際交流センター

広報部門

「老年期を健康に生きる！」

ボランティアさんの言葉の1つ1つが、学生の心に響きました。

平成24年1月13（金）、教育ボランティアのNさんに「老年期を健康に生きる」というテーマで90分のご講義をしていただきました。スライドを使いながら、Nさん自身の人生の歴史を丁寧に語って下さり、その後、歩んできた人生を振り返って思うことや心の支えとなった名言、これからの人生の目標などについて、学生へのエールを込めて語って下さいました。

学生は、戦争を体験したNさんの生きた時代と現代とを比較し、「今こうして当たり前に勉強ができる幸せ」を実感したり、「一瞬一瞬を大切に生きたい」という気持ちを抱いていました。また、Nさんの入院体験の中で遭遇した看護師の気遣いある言動や心無い対応に関するエピソードから、学生個々が「患者さんの気持ちに寄り添うことのできる看護師になりたい」、「患者さんに安心をもたらす看護師になりたい」など、看護師としてのあり方について考える機会を得ていました。多くの苦難を乗り越えて、今もなお目標をもって生き生きと生活をされているNさんから、長年生きてこられた歴史の重みを感じ、自身の生き方について深く洞察するきっかけを得ることもできました。貴重なご講義をありがとうございました。（健康生活看護学：清水）



【教育ボランティアNさん（正面右）】



【スライドによる講義の様子】

「ストーマ（人工肛門）のケア」

ストーマ装具交換の実際

教育ボランティアさんには、人工肛門（ストーマ）を有する患者さんとして、ストーマを造設する位置やその後のストーマケアについての実技演習を支援していただきました。参加して下さったボランティアの方は、実際の多くの患者さんと同年代の方でした。このことは、学生にとってストーマの位置を決めるときの注意点、皮膚の張りやストーマの動作などを実際に即して学ぶことができる良い機会になりました。

（平成24年5月8日（火）、療養生活看護学：平尾）



【ストーマ装具交換の様子】